



# 第27話 女性がズラリ

県議会の特別委員会は5つあります。その中の「教育再生・子ども応援特別委員会」は、教育・福祉・男女共同参画・警察などの部署が出席されて、子どもに関する多角的な議論ができる委員会なので、私はここに所属することが多く、積極的に発言しています。以前は男性ばかりの委員会室の中で女性1人になる年もありましたが、今年は私を含む女性議員が4人ズラリと並ぶ席順で、「これは委員会始まって以来!」と初回はみんなで驚きました。女性議員は考えが近かったり、活発に発言さ

れる方も多いので、女性の視点の意見が出しやすく、よい変化を感じています。



特別支援教育に熱心な県内の女性議員さんと一緒に動画を作りました。YouTube



おおつかあいプロフィール  
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの保養受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子と暮らす。2016年から県議会議員。

## 大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員  
大塚愛 県政レポート[第27号]  
発行: 2023年7月(2023年6月議会報告)

最新情報を発信しています  
Facebook:  
・みどり岡山  
www.facebook.com/greenokayama  
・大塚愛  
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3  
みどり岡山ホームページ:  
https://midori-okayama.org/

[事務所]  
〒700-0971  
岡山市北区野田5-8-11  
Tel:086-244-7721  
Fax:086-244-7724  
e-mail:info@midori-okayama.org  
http://midori-okayama.org/  
[自宅]  
〒709-3122  
岡山市北区建部町吉田321  
携帯:070-5056-3808  
e-mail:ai.raku@shokan.jp



# 大塚愛

県政レポート(2023年7月発行) [第27号]



# いっぽ通信

## P.02-03 女性支援法・有機農業・不登校

- P.01 改選後の初議会に、当事者としての声が届く
- P.02-03 おもな活動記録から「イエナプランの学校・大崎クールジェン」
- P.04 愛ちゃんがゆく! —県議体験記—/日々のうごき(2023年5月~7月)

## 日々のうごき

- 5.8 全員協議会
- 5.9 たねをまめる会おやかま定例会
- 5.10 強度行動障害の意見交換@発達障害者支援センター
- 5.11 吉備中央大和駐在所開所式
- 5.12 みつカフェ@岡山御津高校
- 5.13 カヌー・ジャパソックス/たけべカッパ@建部、加茂川ホリデイフォレスト
- 5.14 しゅんの市@御津molln
- 5.15 臨時議会
- 5.16 バイオ炭の見学@ハイベロン
- 5.18 人間ドック
- 5.19 常任委員会(農林水産委員会)
- 5.22 子ども未来・愛ネットワーク総会



- 5.23 特別委員会(教育再生・子ども応援)、備前県民局事業説明会、DV防止サポートシステムをつなぐ会
- 5.24 石けん運動ネットのお話@県庁、竹枝を思う会総会、NPO3・11'ナグ会議online
- 5.25 パブリック友の会意見交換@吉備公民館
- 5.26 たけべ家おこしプロジェクト理事会、国民スポーツ大会総会
- 5.27 吉井川総合水防訓練、御津マルシェ、オープンガーデン@建部、NPO岡山きずな総会
- 5.28 福祉オンズマン総会、岡山のエネルギーの未来を考える会総会、ホテル観音会@竹枝小学校
- 5.29 後楽園施設使用のお話@蔭蔭寺、



5.27吉井川総合水防訓練

- みどり岡山会議
- 5.30 紙工駐在所開所式、河原邸訪問、建部町観光協会総会
- 5.31 特別支援教育の対談収録
- 6.1 常任委員会、代表質問の会派会議
- 6.2 特別委員会、いっぽ通信運搬
- 6.3 断熱建築のお話online
- 6.4 旭川流域水質調査、ハレノフ記念式典
- 6.5 伊方原発差し止め訴訟傍聴@広島地裁
- 6.6 半田滋講演会実行委員会
- 6.7 みつカフェ@岡山御津高校
- 6.8 後楽館中学・高校体育祭、たけべ中学だっぴ会議
- 6.9 イノシン被害の現場立会@建部、たけのクラブ運営委員会
- 6.10 加茂川ホリデイフォレスト、NPOもみの木総会
- 6.13 6月議会開会
- 6.14 参観日@竹枝小
- 6.15 空き家活用リーフ作成会議
- 6.16 代表質問、学校建築脱炭素研究会online
- 6.17 がんばったねフェス、DV相談資質向上研修
- 6.18 NPO子どもシェルターモモ総会
- 6.19 後楽園管理事務所訪問、NPOウィメンズアイ取材、かくれキニタン上映会@京山公民館
- 6.20 たけべ部会議、みつカフェ
- 6.21~28 一般質問



6.5 伊方原発差し止め訴訟傍聴



6.24 たけべ家おこしプロジェクト総会、鈴木弘氏講演会@津山

- 6.27 ピアサポート活動報告会
- 6.29 特別委員会、DV防止サポートシステムをつなぐ会
- 6.30 常任委員会、フリースクールもえぎ訪問
- 7.2 しろみで祭り@建部里山
- 7.3 子どもの居場所づくりネットワーク@岡山市社協
- 7.4 特別支援教育の意見交換@ノートルダム清心女子大学、竹枝夏祭り準備会



7.4 特別支援教育の意見交換

- 7.5 6月議会閉会
- 7.6 親子森づくり企画打ち合わせ、盆踊り練習@竹枝小、有機農業の意見交換@岡山市役所
- 7.7 常石ともまに学園視察
- 7.8 おかやま二オン定期大会、里親パネルライブ@ぐるーん、不登校対策の意見交換@NPOカヤノ
- 7.9 岡山イエナプラン学習会
- 7.10 御津・建部有機農業交流会@御津公民館
- 7.11 大崎クールジェン視察@広島
- 7.12~13 農林水産委員会視察(笠岡・高梁・倉敷)
- 7.14 常任委員会、立憲自治の会世話人会
- 7.16 福ふく市@福渡駅、みどり岡山総会、長泉寺夏祭り

みなさま、こんにちは。  
西日本豪雨から5年が経ちましたが、毎年梅雨の度に、どこかで災害級の雨が降ることに、胸が痛みます。「危険な場所から逃げてください」とニュースで繰り返されましたが、自分の家が危険かどうかは、まずは浸水と土砂災害のハザードマップを見ることが大事ですね。大きな自然の中に私たち人間の生

活があることを再認識して、備えていければと思います。春の改選後の6月議会では、8人の新人議員さんが質問に立ち、フレッシュな空気が吹き込まれました。長年保育士をしてきた小原なおみさん(津山・苫田・勝田選挙区)は保育現場の切実な声を届けて処遇改善を訴えられ、当事者の声が議会に強く響きました。また、最後の質問

では、議員に「先生」をつけて呼ばないでほしいと主張。私も全く同感です。また玉野初の女性県議となった渡邊直子さんは、アートを活かした宇野港の振興を質問されましたが、これまでとは違う玉野の姿や可能性が伝わってきて、女性や新しい方が加わることの意義を改めて実感しました。



私が7年前に初登壇した時は、避難者の立場から、原発事故について述べましたが、昨年政府が打ち出した原発回帰には反対です。計画を跳ねのけた議会でもありますが、昨年政府が打ち出した原発回帰には反対です。今後起こる自然災害に、原発災害が重なることが二度とないよう、地域と共生できる再エネに本気で舵を切れる日本になることを願います。



井笠地域事務所にて。農林水産委員会の調査で7月は県内全域をまわり、ブドウや桃、トマトの生産地や水産研究所など15カ所に伺いました。

# 6月議会の代表質問\*から (2023年6月16日)

\*代表質問:会派ごとにする質問。私たちは議員10名で話しあって作っています



「いっぽ通信Plus!」  
動画はこちら  
YouTube

# 「教育再生・子ども応援特別委員会」から

## 女性を支援する法律

Q. 昨年5月に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(女性支援法)が成立し、これから岡山県の計画を作るにあたって、支援の充実が求められます。女性自立支援施設の設置も必要ですが、岡山県の該当施設は休止状態になっています。生活に困窮し、どこにも頼れない女性を支援するには、時間をかけて自立にむけた伴走支援をすることが必要ですが、どのように?

知事 長期的な伴走支援が必要な方には、社会福祉施設なども活用して支援しているので、今後はそうした民間との連携を基本に施設の設置を考えていきたい。

Q. 女性の支援にあたっては、福祉、保健医療、労働、住まい、教育など幅広い分野の関

わりが必要であり、これらを担う行政機関と民間団体との連携が求められますが?

知事 こうした団体と意見交換を行って活動内容を把握し、さらに協働していけるようにしたい。

## 有機農業について

Q. 県は2030年度までに有機農業の面積を300haに拡大するとしています(2020年は119ha)。全国的に学校給食に有機農産物を使う自治体も増えていますが、本県でも学校給食への活用をモデル的に取り込む市町村を支援するなど、有機農業推進の機運を高める取り組みを行ってはどうですか?

知事 今年度から新たに、生産者と市町村との意見交換会を県民局単位で開催して、機運の醸成を図っていく。また学校給食への活用については、市町村や学校関係者、

### 令和2年度 おかやま有機無農薬農産物・有機JAS農産物 生産者紹介冊子



岡山県農産課HPより

農業者の意向を踏まえながら、国の事業を活用した支援を検討していきたい。

Q. 国は地域ぐるみで取り組む市町村の支援を進めており、和気町が今年度から始めると聞いています。今後の有機農業の推進は、市町村の取り組みがより重要で、農業普及指導センターの指導力の充実、JAとの連携などが必要ですが、どう進めますか?

知事 今年度から新たに市町村、農業団体等との連絡会議や、普及指導員などの研修を開催するなどして、推進体制の強化を図っていききたい。

## 再生可能エネルギーが無駄になっている?

今年は太陽光発電の出力抑制がとて増えていると聞いていましたが、6月議会で渡辺知典議員が尋ねたところ、中国エ

リア全体の太陽光と風力をあわせた5月の発電量は、約8.5億kWhで、そのうち1億329万kWhが抑制されていたことが分かりました。5月は最も電気が余りやすい月ですが、せっかく発電された電気の1割以上が無駄にされているのは大きな問

題です。送配電事業者では、四国や関西など他地域とつなぐ電線の増強の検討が始まったばかりということですが、再エネを無駄なく活用できるための対策や、屋根貸し(PPA)などの自家消費型の普及が望まれます。

## 不登校支援について

Q. 不登校になって高校の進路が決まらなまま中学を卒業した方から相談を受けました。学校から籍がなくなると、いろんな相談がしにくく、孤立しがちになります。青少年総合相談センターの高校中退専任コーディネーターの方は、通信制高校などの情報提供やきめ細かい相談対応をされているので、不登校のまま卒業した生徒にもこの相談窓口の情報をわかりやすく伝えるべきではないですか。

子ども家庭課長 センターの案内カードを県内すべての子どもに配布しているが、デジタル広告なども使って周知をしていきたい。

## 特別支援教育について

Q. 小中学校や高校の特別支援教育について、県教委は今年3月ガイドブックを作成しました。学校での理解や配慮を促すよい

資料になっていると思いますが、これらをしっかりと活用することが大事です。義務教育課、高校教育課としてはどのように捉えていますか。

義務教育課長 初任者を対象にした研修や、市町村の課長を集めた会議で、通常学級における支援を要する児童生徒への配慮について説明している。学校では校内研修で活用している。

高校教育課長 割合は小中学校より少ないが、どの高校にも特別な支援を必要とする生徒が在籍している。校内研修を中心にガイドを活用して、アセスメントなど基本的な部分も含めて教員の指導力向上に努めていきたい。

### 音声教材・学習アプリ等の活用



音声教材(出典:文部科学省)

音声ペン(出典:文部科学省)

学習アプリの活用

読み書きの困難さを示す子供に対して、  
☆音声教材の活用 →読むことへの支援  
☆カメラで板書を撮影→書くことへの支援  
☆アプリで課題を読み取り、入力して提出  
→宿題、ドリル、プリントの代替  
を行うことも考えられます。



タブレットを用いて課題を行う様子



通常の学級の特別支援教育ガイド



関心のある保護者の方もぜひ参考にしてください。



通常の学級の特別支援教育ガイド  
高校版ガイド

## たまされんのじゃ 岡山県・県民運動

県内の特殊詐欺被害を分析したところ、被害者の84%が高齢者、そのうち女性は85%であることがわかりました。また詐欺の始まりは固定電話が8割近くで、自分は騙されないと確信していても、電

話に出てしまうと巧妙な手法で不安をおられ騙される方が多いそうです。対策としては、固定電話は留守番電話にしておいて、知っている人にだけ応じること。もし知らない人からお金の話が出たら、ひとまず切ることなどがオススメです。皆さまどうぞご用心を!

## つないし 常石ともに学園視察 @福山市 (7月7日)

「イ エナプラン」という教育を取り入れた公立小学校に見学に行きました。ひとり一人を大切に「個別最適」の学びや、1~3年、4~6年が一緒に学ぶ縦割りクラスが特徴で、全国で2番目に開校したばかり。授業中に伺うと、プリントやタブレットを見ながら、それぞれのペース

で勉強していて、廊下の机で勉強している子たちもいました。常石地区だけでなく学区外からの入学も加わって、生徒数は約2倍に増えており、全国調査では自己肯定感に関する項目が高かったそうです。一律の勉強を望まない子どもも増える中、このような多様な学校が必要だと思えます。



北海道や関西から沢山の人が視察に来られています。



## おもな「活動記録」から

### 大崎クールジェン @広島県大崎上島(7月10日)

火力発電から出る二酸化炭素(CO2)を回収する技術の実証実験施設を見学しました。石炭を燃やす前にガス化させて、そこからCO2を抜き取る装置が完成

して動いており、今年からはそこにバイオマス燃料を混ぜる実証実験もするそうです。技術的にはカーボンフリーの火力発電が完成しつつあるようですが、商用化にはコスト面が課題で、今後の活用は未定だそうです。また、バイオマス燃料は国産の調達に難しく、輸入を想定しているそうで、遠くから石油を使って運ぶ燃料ではなく、地産の木材燃料をもっと活用できないものかと考えさせられました。



民主・県民クラブの会派の議員6名で参加。